

<<取組状況: 2018年5月8日現在>>

1. 「投資家第一」や「長期・分散・積立投資の推奨」等の立場からの情報発信

弊社及び米国 Morningstar は、業界全体としてフィデューシャリー・デューティーの実現への貢献や、個人投資家の皆様の長期的な資産形成への貢献を目指して、「投資家第一やフィデューシャリー・デューティーを重視する立場」や「長期・分散・積立投資を推奨する立場」に立って、論文発表、雑誌等への寄稿、講演会・セミナー・勉強会等の実施等、様々な情報発信を行なっています。

(1) 論文等の例

発表年	タイトル	筆者
2017	日本人の金融リテラシーはなぜ低いのか？	山口勝業
2017	Dynamics of integration in East Asian equity markets	小松原幸明、沖本竜義、辰巳憲一
2017	Safe Withdrawal Rates for Japanese Retirees Today	David Blanchett, 山口勝業
2017	長期経済循環の下での株式リスクプレミアムと資産配分	山口勝業
2016	我が国家計の金融資産におけるリスク許容度	山口勝業
2016	金利の期間プレミアムと金融政策の神話	山口勝業
2015	日本株式のサイズ・プレミアム	山口勝業、小松原幸明
2014	ファンドマネジャーの気合いは有効か？ アクティブ・ウェイトの説明力	小松原幸明、朱永洙
2012	日本における年齢階層別リスク資産配分比率に関する分析	元利大輔
2011	人口オナーズの下での株式投資	山口勝業
2010	時価総額分位別等金額ポートフォリオによるサイズ・プレミアム推計	山口勝業、小松原幸明
2009	The History and Economics of Stock Market Crashes	Paul Kaplan, 山口勝業他
2009	株式リスクプレミアムの“長期期待の状態”	山口勝業
2009	時系列分析からみた株式投資	山口勝業
2008	ポリシー・アセットアロケーションの説明力	小松原幸明
2007	「適合性の原則」: 実務上の課題とその解決策	山口勝業
2006	人的資本に基づいた資産配分と生命保険の意思決定	Peng Chen, Roger G. Ibbotson, Moshe A. Milevsky, Kevin X. Zhu, (訳)元利大輔
2005	わが国産業の株式期待リターンのサプライサイド推計	山口勝業
2005	年金運用におけるダウンサイド・リスク最小化のための最適アセット・アロケーション	山口勝業、小松原幸明
2004	債券の期待リターンの推計 実証分析と将来シミュレーション	小松原幸明
2003	スタイル・インデックスのスタイル分析 業種要因とスタイル固有要因の日米比較	山口勝業、小松原幸明
2003	行動ファイナンスの社会心理学的基礎	山口勝業
2003	日本の株式リスク・プレミアム	山口勝業、金崎芳輔、真壁昭夫、小松原幸明
2000	アセット・アロケーション・ポリシーはどれだけパフォーマンスを説明できるか - 40、90 あるいは 100%か？	Roger G. Ibbotson and Paul D. Kaplan (訳)山口勝業

(2) 講演会・セミナー・勉強会等の例

実施年	タイトル	実施者	対象属性
2017-2018	金融庁主催 個人投資家との懇談会(パネリスト) 月1回程度継続して開催	島田知保	個人(投資家や預金者)
2017	運用機関の管理・評価	小松原幸明	企業年金基金
2017	資産管理型営業のポイント	小松原幸明	顧客(多種多様)
2017	金融庁主催「つみたてNISA フェスティバル」パネルディスカッション「つみたてNISA から考える日本の投資信託」(モデレーター)	島田知保	個人(投資家や預金者)
2016	投資の基本鉄則 ～長期分散投資の重要性～	小松原幸明	顧客(多種多様)、個人投資家
2016	良質なロボ・アドバイザーと アセット・アロケーション ～豊かな社会の実現のために～	小松原幸明	顧客(多種多様)
2015	資産運用と投資信託: 知っておきたい誤解と現状 (消費者協会主催)	島田知保	消費生活アドバイザー
2014	誰も教えてくれない「資産形成」の王道	島田知保	顧客(銀行)
2013	分散投資と長期投資	小松原幸明	顧客(事業者)
2011	アセット・アロケーションの重要性	小松原幸明	顧客(多種多様)
2010	投資信託を販売する上でのポートフォリオ理論の基礎	小松原幸明	顧客(事業者)
2010	確定拠出年金における運用商品の役割と評価方法	小松原幸明	顧客(公的)
2009	長期分散投資の時代は終わったのか	小松原幸明	顧客(証券)
2009	不安からはじめない はじめての投資信託入門 (投資信託協会主催)	島田知保	個人(投資家や預金者)
2006-2008	アセットアロケーションの必要性和長期投資の有効性	小松原幸明	顧客(多種多様)
2005	人生設計とアセット・アロケーション	Roger G. Ibbotson, 山口勝業	顧客(生保), 協会
2002	戦略的アセット・アロケーションのデータ処理と基本的考え方	山口勝業・小松原幸明	顧客(公的)
2002	アセット・アロケーションと最適ファンド・ミックス	山口勝業	顧客(証券)

(3) 寄稿等の例

発表年	タイトル	筆者等	寄稿先等
2018	アクティブがパッシブに勝てないのは運用報酬の差が主因	山口勝業	投資信託事情
2018	「つみたてNISA」、iDeCo、充実する資産形成支援策で、企業型DCは検証を迫られる	島田知保	企業年金総合プランナー
2017	アクティブかパッシブか? 運用コスト控除後で見た株式投信の日米比較	山口勝業	投資信託事情
2017	ESGの国際比較	山口勝業	投資信託事情
2017	「お客様ファースト」の投資信託業務の実現方法	山口勝業	投資信託事情
2017	適正なリスク水準へのアプローチ② 人的資本を考慮した資産運用の実現方法について	服部陽一	投資信託事情
2017	適正なリスク水準へのアプローチ① 人的資本を考慮した資産運用	千葉祥二	投資信託事情
2017	特集“顧客本位”の提案を実践する「ファンドの商品性はこの点を分かりやすく説明しよう」	島田知保	近代セールス

	「各ファンドのその他の特徴はこう説明しよう」		
2017	老後の生活を維持する安全引き出し率は何パーセントか？	山口勝業	投資信託事情
2017	解決されていない課題～意図は望ましいものの、退職制度は女性特有のニーズに応えていない	Sue Watt (翻訳 山口勝業)	投資信託事情
2017	定年を迎えた高校同期会の話題は「老後の資産運用」～3つのリスクを意識して対処を考える	山口勝業	投資信託事情
2017	「専業主婦」の老後の準備に iDeCo は有効か？	山口勝業	投資信託事情
2016	我が国家計の金融資産でのリスク許容度	山口勝業	投資信託事情
2016	日本人の金融リテラシーは低いのか？	山口勝業	投資信託事情
2016	コストが高いアクティブ・ファンドはパッシブ・ファンドに勝てない	山口勝業	投資信託事情
2016	米国労働省発 フィデューシャリー・デューティ規範の衝撃	山口勝業	投資信託事情
2014	「安く買って高く売る」は困難 時間を味方に付けよ	小松原宰明	日経電子版
2014	NISA の現状と課題 (インタビュー)	島田知保	FP ジャーナル
2013	データで予習する NISA①～⑫	元利大輔、高橋祐規、前山裕亮、小松原宰明	投資信託事情
2013	投資信託：リスクに見合ったリターンで、保有コストが低い商品を選ぶ	島田知保	週刊ダイヤモンド
2010-2011	カリスマの教室 最強のポートフォリオ作り	小松原宰明	日経マネー
2010	投資信託の選び方、買い方のコツ(インタビュー)	島田知保	朝日新聞どらく
2009	100年に一度の危機をチャンスに！「分散投資」と「長期投資」に立ち戻る	小松原宰明	日経ビジネス
2009	リスクに負けない運用法 (上)価格変動リスク 標準偏差で予測 (中)ポートフォリオ見直し 標準偏差を尺度に (下)投資効率アップ 決め手は資産組み替え	小松原宰明	日経ヴェリタス
2009	投資家の「人的資本(収入構造)」を考慮した資産配分の考え方	小松原宰明	投資信託事情
2008	金融危機の先を見据えた分散投資と長期投資	小松原宰明	NomuraFund21
2008-2013	ランキングで読み解く投信	島田知保	読売オンライン
2007	資産分散投資のススメ	小松原宰明	投資信託事情

2. 個人投資家が理解しやすい用語や表現による情報発信

読者である個人投資家が、事実やリスク等について正しく理解できるよう、特に証券投資分野の専門用語や独特の概念について、グラフや図表等も活用して、分かりやすく誤解しにくい表現や説明を行なうよう、特に注意して文章や資料を作成しています。